



吉田初三郎画の鳥瞰図から(1932年)

西成の 地力・磁力の 系譜をたどって

日時 2014年11月22日(土) 10:30~12:30(開場10:00)

会場 大阪フィルハーモニー会館 (大阪市西成区岸里1-1-44)

主催: 大阪市立大学 共催: 大阪府立大学

協力: 大阪市西成区役所

定員: 250名(当日受付/先着順)

参加
無料

プログラム

開会挨拶 | 宮野 道雄 (大阪市立大学副学長)

第1部 西成の地力・磁力

【映像】

「西成の地力・磁力 ~歴史の系譜をたどって~」

絵図・地図・写真を利用して西成の歴史をたどり、
新しい西成の可能性をしめします。

【基調講演】

「ミナミの成立 — 西成をめぐる鉄道路線との関係から」

三木 理史 (奈良大学教授)

演奏 | 大阪市立大学交響楽団

第2部 【パネルディスカッション】

「西成の地力・磁力の系譜を地域再生に活用する」

井上 雅之 (経済戦略局長) 酒井 隆史 (大阪府立大学教授)

臣永 正廣 (西成区長) 添田 晴雄 (大阪市立大学准教授)

三木 理史 (奈良大学教授) ファシリテーター: 水内 俊雄 (大阪市立大学教授)

パネル展示 COC事業紹介

木津川沿岸の工場街(1930年代後半)





写真左から、大和川の鉄橋をわたる南海鉄道の列車(1900年頃)/津守新田から天下茶屋方面を望む(1910年頃)/現山王3丁目から北方を望む(1916年)/玉出生根神社の夏祭りにたてられる「だいがく」(1995年)

西成の地力・磁力 — 歴史の系譜をたどって —

大阪市立大学と西成区役所は平成25年6月に連携協定を締結し、各種連携事業を実施しています。今回は、「西成の地力・磁力 — 歴史の系譜をたどって —」と題しまして、ヒト、モノ、カネが動く流動、物流、交流といった〈流〉の長い歴史を持つ西成地域で、めんめんと息づいてきた〈地力〉の系譜を学ぶ企画です。その〈地力〉が生み出す〈磁力〉にも注目しな

がら動画でたり、パネルディスカッションでは、シビックプライドの育成につながるCOCによる教育的貢献の可能性と、新しい大阪・西成の〈地力〉〈磁力〉の新たな芽を共有します。区内の大フィル会館にて、西成のクラシック文化も地域に根付き、市大交響楽団も共演し、新たな西成との連携を育みます。

第1部 西成の地力・磁力

【映像】15分～20分

「西成の地力・磁力 ～歴史の系譜をたどって～」

絵図、地図、写真を多用しながら、江戸時代以前から明治、大正期にかけての西成郡の地理的広がりと、現西成区域の交通流に着目した地域の形成の特色や景観を紹介します。特に今宮、津守、玉出(勝間)や天下茶屋の地域の歴史的な資産が、今後の地域づくりにどのように生かすかを描きます。そしてこうした地力や磁力を生かしたまちづくりの芽が発見できることを紹介します。

【基調講演】30分～40分

「ミナミの成立 — 西成をめぐる鉄道路線との関係から」

三木 理史(奈良大学教授)

西成エリアの密な鉄道路線の形成は、いずれも広義の「ミナミ」と称される地区を起点にしたものである。大阪の「ミナミ」と「キタ」は古くからの繁華街を意味する用語として広く知られてきた。しかし、その形成が鉄道路線の起点と密接に関わっていることは意外に見落とされてきたように思われる。そこで、「ミナミ」と「キタ」の成立を対比させながら、その通過点としての西成エリアの鉄道路線形成をお話をする。



写真左: 大阪市パノラマ地図鳥瞰部分(1923年)/右: 釜ヶ崎、あいりんの地力・磁力をまざざとみせつける(1964年頃)

第2部 【パネルディスカッション】45分

「西成の地力・磁力の系譜を地域再生に活用する」

井上 雅之(経済戦略局長)、臣永 正廣(西成区長)、三木 理史(奈良大学教授)、

酒井 隆史(大阪府立大学教授)、添田 晴雄(大阪市立大学准教授)、

ファシリテーター: 水内 俊雄(大阪市立大学教授)

■パネラー・ファシリテーター プロフィール



三木 理史 / 近代とよばれる明治期から現代に至るまでの鉄道を中心とした交通の発展あるいは衰退過程、また同時期の「満洲」や「樺太」など旧植民地の研究を進めている。生まれ、育ちが大阪のため、毎年のようにゼミ生を連れて大阪の渡船を乗り歩いたり、アクアライナーなどの遊覧船から普段見慣れた大阪の市街を眺め直すようにしている。



酒井 隆史 / 社会思想史、都市論、大衆文化論を専門とし、現代の権力をめぐる考察と一般理論、都市の歴史や文化についての研究を進めている。特に都市の政治の作用や人々の生き様、そこから生まれてくる音楽などの文化表現を手がかりに研究を進めている。著書『通天閣』で構想した大阪南部の空間の系譜の解明に関心をもっている。



添田 晴雄 / 2002年度から大阪市教育委員会の学校支援学生ボランティア事業を利用して、市大の授業の一環として学生ボランティアを西成区内を含めた市立学校園に派遣してきた。また、西宮市を拠点とするこども環境活動支援協会を通して1市民として学校と地域をつなぐ持続可能なまちづくりに取り組んできた。西成区こども教育専門会議委員。研究領域は比較教育文化史、特別活動。

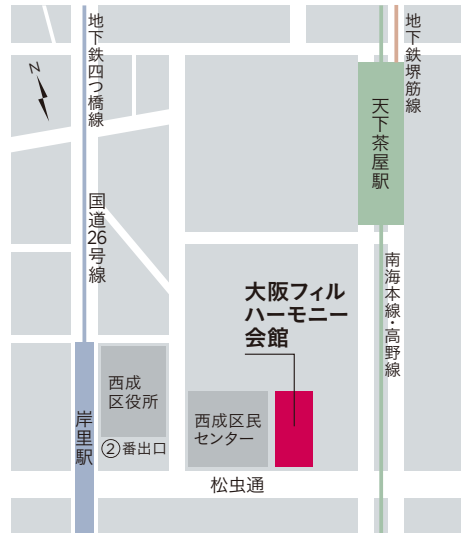


水内 俊雄 / ももとは大阪市のインナーシティに魅かれて、近代の日本都市の形成の系譜や歴史について研究をおこなっていた。最近はインナーシティの濃密な歴史を有する西成区において、西成特区構想、あいりん地域のまちづくり検討会議などに関わっている。社会地理学、ホームレス支援、居住福祉NPO支援、都市史、地域史研究が専門分野である。

■COC事業について

大阪市立大学・大阪府立大学が共同で採択された文部科学省の地(知)の拠点整備事業「大阪の再生・賦活と安全・安心の創生をめざす地域志向教育の実践」では、地域の福利やコミュニティの活力の向上へ、地域の魅力や潜在力を読み解き、再発見し、それらを生かした都市再生のあり方を提案して、社会実験として実践する取組みを進めていきます。

■会場アクセス



- 大阪/西梅田駅から地下鉄四つ橋線で約12分、
- 「岸里」駅下車 ②番出口より東へ徒歩約2分
- 地下鉄堺筋線・南海本線・高野線
- 「天下茶屋」駅下車 南へ徒歩約5分

■連絡先

大阪市立大学
プロジェクト・マネジメント・オフィス(略称PMO)
〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
TEL 06-6605-2068
FAX 06-6605-3505
E-mail pmo-coc@ado.osaka-cu.ac.jp



大阪府立大学
地域連携研究機構 地域連携室

COC事務局
〒599-8531 大阪府堺市中区学園町1番1号
TEL & FAX 072-254-8309
E-mail cocinfo@ml.osakafu-u.ac.jp